

こども新聞
週刊がほピョンプレス

毎週日曜発行
2021 2/21

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

「SDGs」って？ こども記者が取材

ニュース



「SDGs」という言葉が最近よく聞くね。国連が採択した「持続可能な開発目標」の略称で17の目標があるんだ。3

月に開かれる「こども新聞サミット」でもテーマになる予定。こども記者としてサミットに参加する仙台市上杉山通小6年の田岡真紀さんとかほピョンが、目標の一つ「安全な水の確保」にネパールで取り組んだ登米市の桜井ひろ子さん(74)を取材したよ。



水道ができる前のサチコール村では2時間近くかけて歩き、水くみをしていた(桜井さん提供)

共に行動 自立うながす



「電気もガスもない。飼っているヤギをえさ場まで連れて行くなど、子どもも仕事をしなければいけない環境」。桜井さんは振り返ります。水道もなく、雨水をためて使っていました。雨の降らない乾期には水がなくなり、急な山道を往復2、3時間も歩き、わき水をくまなければなりません。水くみは子どもや女性の仕事でした。仕事がある日、子どもは学



元保育士の桜井さんは1998年、ネパールの山奥にあるサチコール村を訪れました。村に完成した診療所の運営を手伝うためです。

校を休みます。

「生きるには水と教育が必要」と感じていた桜井さん。一時帰国したとき、登米市で現地の様子を講演すると「何か手伝えることはない？」と質問されました。その声に押され、村に水を引こうと決意します。

登米市や仙台市で支援を呼び掛けると、40万円ほど集まりました。支援でネパールの各地を飛び回っている垣見一雅さん(81)と共に2000年、工事に着手します。



業者に頼むことはしませんでした。垣見さんは「物もらいが上手な人をつくってはいけない」が口癖。村人が自分たちでやり遂げることが、村の自立につながるという考えです。

桜井さんは「『やってあげる』という発想ではだめ。一緒に考え、一緒に行動するという心が大切です」と話します。

8面に続く

今週の注目ニュース

◇22日(月) 猫の日

2月の2が三つ並ぶこの日に「ニャン、ニャン、ニャン」という猫の鳴き声に語呂を合わせて、猫好きの学者らでつくる実行委員会などが1987年に制定したよ。猫と暮らせる幸せに感謝する日ニャンだって。

きょうの紙面

- 2面 地震引き起こすメカニズム
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 いいね 小学校
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 村人総出で水を引く大事業

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ